



生誕110年 奄美に魅せられた日本画家

田中一村展

2018.9.29 Sat

2019.1.15 Tue

休館日 2018.10/3,17,11/7,21,12/5,19

不喰芋と蘇鐵 個人蔵 田中一村記念美術館寄託

【時間】 午前9時～午後6時 ※入館は閉館の30分前まで

【観覧料】 大人510(400)円/高生360(280)円/小中学生250(200)円 ※()内は団体(20名様以上)の料金です。

【主催】 鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館

【後援】 MBC南日本放送局/NHK鹿児島放送局/KYT鹿児島読売テレビ/KKB鹿児島放送/KTS鹿児島テレビ/アママテレビ/瀬戸内ケーブルテレビ(株)
奄美新聞社/南海日日新聞社/南日本新聞社/あまみエフエム・ディ!ウェイヴ/エフエムたつごう

〈お問合せ先〉 〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田 1834 電話 0997-55-2635 FAX0997-55-2613 鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館



田中一村
記念美術館



一村が日本画で描きだした奄美

左からパパイアとゴムの木、蘇鐵残照図、初夏の海に赤翡翠、大赤啄木鳥と瑠璃懸巢、枇榔と浜木綿、奄美の郷に棲紅蝶、桜躑躅に赤髭、草花に蝶と蛾、枇榔樹の森、枇榔樹の森に崖薔花、枇榔樹の森に浅葱斑蝶、白花と瑠璃懸巢（未完）

展覧会について

本展は、田中一村の生誕110年の節目の年に、田中一村記念美術館所蔵作品を中心に全3期で開催する特別企画展の第3弾となります。

第3期の「奄美に魅せられた日本画家 田中一村 展」は、伸びやかな筆さばきと美しい墨の色が印象的な若き南画家として活躍した東京時代の作品群からはじまり、動植物や風景などの写生を元にして生まれた多様な様式で描き出された千葉時代の作品群、生涯の最後を飾る絵を描くために訪れた奄美大島で描きだした奄美の動植物や風景などの作品群を展覧することで、一村が奄美で切り拓いた日本画の新たな美の世界につながる彼の画業を辿ることができる展覧会です。

今回の展覧会では、ジャポニスム2018「深みへー日本の美意識を求めてー」展において、海外初公開した作品を含む、奄美と出会い、奄美に暮らし、奄美の自然を見つめた田中一村が、奄美大島で過ごした19年間に描きだした「奄美作品」を最大規模で展覧いたします。田中一村生誕110年の節目の年に、田中一村の画業と田中一村を魅了した奄美をより多くの方にご堪能いただけるまたとない機会です。



田中一村について

一村は、彫刻師の父の指導のもと、幼少より画才を発揮し、十代から南画家として活躍しました。17歳で東京美術学校（現在の東京藝術大学）日本画科に入学しますが、わずか2か月で退学します。同級生には、東山魁夷、橋本明治、加藤栄三、山田申吾などがいました。大学を退学した一村は、先達に学び、独学で制作を続け、南画から花鳥画や風景画を写實的に描く作風に変わっていきました。昭和13（1938）年からは千葉市千葉寺に暮らし、農業と画業に励み、昭和22（1947）年には青龍社展に「白い花」が初入選します。しかし、その後は、なかなか中央画壇に認められることはなく、昭和33（1958）年、50歳の一村は、新たな自分の表現を追い求め、単身、奄美へ渡りました。奄美での一村は、絵を描くために細工場で職工として働き、孤独と切り詰めた生活の中でも、画家としての信念を貫き、亜熱帯の動植物をモチーフに日本画の新境地を拓きました。一村は、生前奄美で描いた作品を発表するという思いは叶わず、昭和52（1977）年9月11日、69歳で奄美の地でその生涯を閉じました。

東京・千葉・奄美時代の作品群から一村の画業を辿る 関連イベント等



左から 東京時代作品 墨梅図、水辺にめだかと枯蓮と露の臺、千葉時代作品 秋色、白い花、奄美時代作品 榕樹に虎みづく

- | |
|---|
| <p>1 学芸員によるギャラリートーク</p> <p>(1) 期日 ※各日曜日 10月14日/11月4日/12月30日/1月13日</p> <p>(2) 時間 15時～16時</p> <p>(3) 場所 田中一村記念美術館 ※要 観覧チケット</p> <p>2 長谷川祐子氏 × 宮崎緑館長対談・講演会</p> <p>(1) 期日 平成31年1月13日(日)</p> <p>(2) 時間 10時30分～12時00分</p> <p>(3) 場所 田中一村記念美術館</p> <p>(4) 定員 50人※要申込み ※参加料無料</p> <p>3 田中一村を魅了した奄美フォトコンテスト作品展</p> <p>(1) 会期 9月29日～1月15日</p> <p>(2) 会場 田中一村記念美術館 回廊</p> <p>(3) 観覧料 無料</p> |
|---|

掲載作品全て ©2018 Hiroshi Niyama

奄美大島／田中一村記念美術館へのアクセス方法

- | | |
|---|--|
| <p> 船舶利用 鹿児島、沖縄より定期便</p> | <p> 航空機利用 東京（羽田・成田）、大阪（伊丹・関空）、福岡～奄美 鹿児島、喜界島、徳之島、沖縄 より定期便</p> |
|---|--|

島内交通

- | | |
|--|---|
| <p> 名瀬港から奄美パーク・田中一村記念美術館 車（レンタカー）約40分 奄美空港から奄美パーク・田中一村記念美術館 車（レンタカー）約5分</p> |  |
| <p> 名瀬港から奄美パーク・田中一村記念美術館 路線バスご利用の場合 約55分 ※名瀬乗車（奄美空港行き）→奄美パーク下車 奄美空港から奄美パーク・田中一村記念美術館 路線バスご利用の場合 約5分 ※奄美空港乗車（ホテルウエストコート行き）→奄美パーク下車</p> | |



(お問い合わせ) 〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田 1834 電話 0997-55-2635 FAX 0997-55-2613 田中一村記念美術館（鹿児島県奄美パーク）